

会 議 録 （議事要旨）

|              |  |
|--------------|--|
| 会 議 名        | 平成24年度 第5回三豊市事務事業外部評価委員会   |
| 開 催 日 時      | 平成24年7月26日（木）午後2時30分から午後4時17分  |
| 開 催 場 所      | 三豊市役所4階委員会室  |
| 出 席 委 員      | 赤井勝哉、牛島授公、酒井 郁、宮武佐代子、森 登、宮本英一郎<br>(6名)   |
| 欠 席 委 員      | 森 昭博   |
| 事 務 局        | 政策部長 小野英樹、企画財政課長 森 諭、企画 GL 福岡正記、同 G<br>三好智支  |
| 傍 聴 者        | 非公開  |
| 議 題          | (1)報告書（案）について<br>(2)その他  |
| 議事の経過及び発言の要旨 |  |
| 1.開会 午後2時30分 |  |
| 森課長          | 失礼します。本日の委員会であるが、森委員が欠席、あと酒井委員が少し遅れるということであるので始めさせていただく。只今より第5回事務事業外部評価委員会を開催させていただく。開会に当たりまして牛島委員長よりご挨拶をお願いします。 |
| 2.委員長あいさつ    |  |
| 牛島委員長        | 本日の委員会では、評価報告書の作成という事で、委員会からのコメント欄等のチェックを主にさせていただくことになる。長い時間はかからないと思うので宜しくお願いする。                                 |
| 3.議題         |  |
| 森課長          | それでは、議題(1)報告書（案）についてということで、お手元に資料をお配りしているが、委員会としての意見集約と評価について、委員長の方で進行をお願いします。                                   |
| 牛島委員長        | それでは報告書の内容を確認していきたいと思う。まず、目次まではいいとして、1ページの評価にあたってという所からであるが、事務局より簡単に説明をお願いします。                                   |
| 事務局          | <資料について説明>   |
| 牛島委員長        | 今説明があった部分で何か意見はあるか。<br>私から、2ページの合併特例債の「益々厳しくなる財政事情の中」というところであるが、今後の財政状況は分からない面もあるので、そこを整                         |

|       |   |
|-------|---|
|       | 理して「今後も一層の財政運営の効率化が必要となる中」とかにできないか。財政が厳しくなるということをあまり書き過ぎてもどうかと思う。見直すべきは見直しであるし、政策的にやることはやってもらおうという事かどうか。部長はどう思うか。   |
| 小野部長  | 事務局としては結構である。   |
| 牛島委員長 | 他にないか。<br>では、次の評価結果について、3 ページ 4 ページであるが、これは全体をまとめたものか。説明をお願いする。   |
| 事務局   | <資料について説明>  |
| 牛島委員長 | 何か意見等あるか。一覧として結果を整理しただけなのでよろしいか。  |
| 森副委員長 | 事業の内部評価であるが、5 点評価で 10 項目であるから 50 点で満点とすれば平均が 3 点としてそれ以下の事業も結構あったと思う。内部評価で点数を付けているが、市の例月監査があると思うが監査委員の意見も入っているのかどうか。それと今回の評価結果とは整合性がとれているのかどうか。また、その内部評価と今回の評価結果を執行部としてどの様に対応していきたいのかお伺いしたい。   |
| 森課長   | 1 次、2 次の内部評価の資料については、監査委員には渡っていない。したがって、監査委員の意見は入っていない。   |
| 小野部長  | 自己評価の中で点数が低い事業があるのも確かである。これは担当部局の中で、このままでいいのかというような状況の中で、ずるずると実施している事業があるからだ。効果のあまりない事業でも政策的なところで実施している事業も確かにある。担当者としては、この外部評価の結果をもって、再度精査をしたうえで内部協議をする中で検討していくことになる。もちろん予算編成の時には評価いただいた意見をもって内部で協議することになる。財政部局としては、この結果を十分に反映させているかどうかの検証は必要であると思っている。 |
| 牛島委員長 | 他にないか。<br>それでは個表に入るが、一事業ごとに確認していくとして全体的なまとめ方として事務局から何かあるか。  |
| 事務局   | <まとめ方について説明>  |
| 牛島委員長 | 市の歌普及事業であるが、各委員のコメント欄は、意見を順次並べてあるだけであるので全体精査することはない。委員会のコメントの欄につ  |

|       |   |
|-------|---|
|       | いては、表現の仕方であるとかよく考える必要がある。この事業には歌を普及するイベントがあるが、もっと効果がでる方法でやって欲しいということと、同時に CD を上手く使って配信して欲しいということであったと思うが。                                     |
| 小野部長  | 委員長の言葉であれば、イベントによる効果は期待できないので、他の民間活力により効果を図るといようなコメントになる。   |
| 牛島委員長 | その民間活力というのは、何か委託するというイメージが出てくるが、そういう見方で大丈夫であるか。   |
| 小野部長  | イベントによる効果だけでは不十分である為にとか。  |
| 牛島委員長 | イベント自体は縮小する方向になっているわけであるから、少し柔らかい言い方で、イベントによる普及は難しいと考えられる為に、より効果的な方法を考えるべきという事でまとめさせていただく。一応、(6)の縮小になっているのでその主旨は伝わると思う。                       |
| 森副委員長 | 縮小の方向だという事。   |
| 牛島委員長 | イベントについては縮小の方向で。<br>次はコミュニティバス運行事業であるが、この見直しについてのコメントはいいと思うが、基本的には継続だけ見直しを効率的に考えて欲しいという事は良かったと思うが。  |
| 森副委員長 | 乗車率の問題とか採算性の問題があるが、必要であるのは間違いないということでもいいのではないか。   |
| 牛島委員長 | よろしいか。<br>次のフラワーセンター運営事業であるが、市内全域を対象とするべきという委員会コメントがどうか。そういうふうに出ればいいという話は確かにあったが、例としての意見ではなかったのかと思う。ボランティア団体等が利用するなど支出を削減する工夫をして実施するというのは良いが。 |
| 赤井委員  | これは委員会全体としての意見ではなかったと思う。  |
| 牛島委員長 | では、ボランティア団体等の協力を得るなど、支出を削減する工夫をして実施するという事で集約する。<br>事業自体止めた方がという意見もなかったと思う。  |
| 森副委員長 | なかった。   |
| 牛島委員長 | では次の観光資源管理であるが、これは現行どおりで特になしで問題ないかと思うがよろしいか。<br>次、詫間町自転車駐車場管理事業であるが、指定管理者は使っていない。指定管理者制度を検討し、最終的には民営化を視野に入れるかどうか。                             |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>活用しつつと書くとなると、かなり強く求めている意見になるが、委員会ではそこまで言っていないかどうかというところもある。指定管理者制度を検討して最終的には民営化を視野に入れるということをお願いする。</p> <p>次は定住促進事業であるが、これは拡充であるが委員会のコメントで内容を充実させて事業を継続するとなっているのでこのままでどうか。具体的な内容は、委員のコメントにこれだけ書いてあるので十分伝わると思う。</p> <p>次の商工振興事業であるが、これは商工会への補助みたいな事業か。</p>   |
| 事務局   | 結局のところ、商工会独自の事業があまり出来ていない部分があり、何か商工会で事業をやるべきだと。   |
| 牛島委員長 | 運営補助を出し続けるだけでいいのかという事がある。この一言で伝わるか。しかも縮小と評価しているから補助金を減らすみたいなことになっているが。  |
| 事務局   | 会員数がかかなり減少している中で、補助額が変わっていないということもあったと思うが。  |
| 牛島委員長 | 商工会の活性化みたいな事も考え方としてはあった。会員数も減っている中で効率化と活性化を考えた見直しをするというぐらいでどうか。商工会に伝わるメッセージが心配な面もある。ただ継続的な運営補助ではなく事業補助にしたいという事も含めて活性化を考えて欲しいということを入れておきたい。これまでの評価で縮小という評価はどれくらいあったのか。   |
| 福岡補佐  | 平成 23 年度の外部評価結果では、評価対象の全 77 事業のうち縮小は 19 事業。全体の 24.7%が縮小となっている。  |
| 牛島委員長 | 今年は 36 事業であるから、9 事業ぐらいで同程度ということか。   |
| 森副委員長 | 縮小が 5 事業である。  |
| 牛島委員長 | もう一度確認するが、商工会の補助は縮小という評価で大丈夫か。前回の集約では縮小となっていたが、私の考えは運営補助、会員数が減る分は少し減らしても良いが、その分商工会が独自の事業を考えるならそれに対して事業費は増やしてもいいとも思っている。委員の中には、拡充と書いている方もいるが、その方はやはり商工会の活性化の観点から補助を考えるべきと思っていると思う。双方の意見が縮小という評価でうまく伝わるかどうか心配である。例えば、(7)の見直しに変えるという考え方もある。詳しく説明すれば分って貰えると思うのだが。 |
| 森副委員長 | 商工会も町の合併と同じで、各町に商工会があった。それが合併したので施設もそのままになっており、昔のままになっている。  |

|       |  |
|-------|--|
| 牛島委員長 | その辺の効率化はして欲しい。だけど商工会の事業を活性化して欲しいというのもある。この運営補助とは別に事業補助はあるのか。   |
| 小野部長  | この事業の議論では、一番時間を取ったのが街路灯の維持管理ということで、少し考え直した方が良いのではないかとということであった。そういう中で事業見直しをして縮小というご意見が多かったと。だから商工会本体の補助金は少し減額した方がどうかなという議論はあまり出て無かったと記憶している。 |
| 牛島委員長 | ただ会員数が減っているという話はあった。   |
| 小野部長  | 確かに。   |
| 牛島委員長 | あまりそこを突き詰めて行く議論でなかったと思うが、他の事業補助はあるのか。  |
| 小野部長  | 利子補給がある。   |
| 牛島委員長 | それは別である。だから商工会が何か活性化事業をやる時の事業補助はあるのか。そういったことも含まれているのか。   |
| 小野部長  | そうである。   |
| 牛島委員長 | だから、そういう事であれば単に縮小するのは違うように思うが。   |
| 小野部長  | ただ人件費で組織のあり方みたいな事情があったと思うが。  |
| 牛島委員長 | そういうので効率化して少し削減できるところはあるはずだが、一方で商工会の事業を活性化して欲しいというのもある。そういう部分が縮小という評価で伝わるか。  |
| 赤井委員  | 見直しで良いのでは。   |
| 牛島委員長 | この委員会で縮小となっていたが、上手く伝わるかどうか心配になった。趣旨は事業を活性化して欲しいということで（7）にして良いか。委員会のコメントは効率化と商工会の活性化を考えた見直しをするということで総括できると思う。                                 |
| 森副委員長 | 縮小には抵抗がある。   |
| 牛島委員長 | 単純に受けとられる可能性がある。<br>次は商品券事業であるが、色々な工夫でなくて商工業の振興に繋がる工夫をしながらと修正してはどうか。   |
| 森副委員長 | 良いと思う。   |
| 牛島委員長 | 工夫をしながら継続して欲しいということで。次の特別会計の方も同じということで。<br>次はふるさと会運営事業であるが、この事業にはたくさんコメントがあり、期待しているコメントも色々あるので十分伝わると思う。                                      |
| 森副委員長 | 特になしというのはどうか。  |

|       |  |
|-------|--|
| 牛島委員長 | 効果的な活動を望むと。<br>次は知名度向上プロジェクト事業であるが、これは、今やっている事業に対する説明もあったが、知名度向上プロジェクト自体を縮小した方がいいという意味では無くて、委員のコメントは期待されている感じだと思う。委員の皆さんも知名度向上は大事な課題だと思っているので、知名度の向上は大事な課題であり、より効果的な方法で実施すべきという感じでどうか。   |
| 森課長   | 知名度向上は重要であるのでとすれば。   |
| 牛島委員長 | 重要な課題であり、より効果的な方法で実施すべき。そうなるかと縮小というのは違うと思うが。   |
| 小野部長  | 事業としては縮小。  |
| 牛島委員長 | 今回の事業としては、見直しの(7)が妥当であると思うが、内容に合わせて評価して欲しいということであった。その知名度向上事業自体を減らすといったコメントはあまりない。ただ今回の事業の内容としては見直しして縮小ということである。   |
| 森副委員長 | 韓国のは平成 23 年度で終了する。   |
| 事務局   | 臨時的な事業でやっているもので、知名度向上プロジェクト事業自体は継続してする必要があるという意見だったと思う。だけど、やり方は考えなければならない。   |
| 牛島委員長 | そういう意見であったので、やはり縮小というよりも見直しということかどうか。  |
| 森副委員長 | 韓国のは効果が薄いと思われるので、それ以外の知名度向上はすべきだということ。   |
| 森課長   | 単年度でハプチョン郡へ行って三豊市の PR をした事業であったが、その分の効果については賛否両論である。違う方法で三豊市を PR して欲しい、見て欲しいという形になるかと思う。   |
| 牛島委員長 | こういう事業ができるのは市であると期待しているわけで、あまり縮小として違う方にとられても困るので、やはり(7)の見直しにする。<br>次の地球温暖化防止対策事業であるが、これは財政的負担との効果をよく見極めた上で実施すべきということが良いかと思うが。現行予算額にこだわる必要もない。財政の判断もあるので財政負担とその効果を見極めながら実施するというところでお願いする。 |
| 森副委員長 | 国の補助事業の動向はよいのか。  |
| 牛島委員長 | あまりそこに拘ることはないと思う。よろしいか。<br>次の竹資源利活用事業化事業であるが、事業の継続にもかかわる意見もあるように思うが、全体として縮小見直しという意見が多かった。  |

|       |   |
|-------|---|
| 森課長   | 全県的に取り組むとか、三豊市単独でなくてとか。   |
| 牛島委員長 | その意見は確かにあった。あったけれど、それを全県的にやれるかどうかの判断をするのか。今の現状からはそこまで結論を出すこともないと思う。だから、成果が出そうなところに絞ってやるべきだという感じでないか。この事業化は素晴らしいと前向きに評価されている委員もおられる。全部が駄目だといっているのではなくて、成果が出ないようなところは縮小して、成果を見込めるところに絞って実施をすべきだということ。   |
| 森副委員長 | いい発想であるが事業効果が余り期待が出来ない事業でないか。事業効果が本当にあるのか。  |
| 小野部長  | 事業効果と継続性を検討する時期であると。  |
| 牛島委員長 | そうであるとは思いますが、本当に判断するための資料と情報もない中で委員会で決める必要もないと思う。だからその時期が今なのかどうかということ自体を委員会で決めることも難しい。それは執行部でよく考えてもらいたいことで、要するに基本的な考え方としては、成果が出そうなところはやった方がいいし、そうでない部分は縮小するということである。今決断すべきということと言うのは委員会としては言いすぎな感じがする。あまり触れずに言うと、成果が見込める部分を見極めて実施をすべき。後は執行部のほうで状況見極めて判断すると。 |
| 小野部長  | 成果が見込める部分を見極めながら事業を実施するというのはどうか。  |
| 牛島委員長 | 成果が見込める部分を見極めながら事業を実施する。というのであれば、後の判断は執行部でということになるので。   |
| 森副委員長 | 成果が見込める部分を見極めて実施すると。  |
| 牛島委員長 | それでは次の子ども未来推進事業であるが、コメント入れるか。統廃合の事業であった。なかなか難しいと思うのだが。  |
| 酒井委員  | デメリットがあるので最大限配慮をすとか。  |
| 小野部長  | デメリットというのではないが、本質的には子どもたちの教育をどう考えるかという方針を持って進めている。全員が一つの方向へ向いているわけではないので、そこを書くことが難しい。子どもたちの教育環境と地域コミュニティを十分考慮して事業を進めている。  |
| 森課長   | 予算は事務的な経費 45 万円程度。  |
| 牛島委員長 | ここでは学校の統廃合を進めるべきかどうかを 45 万円の予算の評価でする必要もない。その事務費についての評価であれば特に無しで良いのではないか。統廃合に伴うデメリットとかをその評価の中に書きこまなくても各委員のコメントに書いてある。ここはこの事務費についての評価ということでもいいのではないか。   |

|       |   |
|-------|---|
| 森課長   | 良いと思う。  |
| 牛島委員長 | この統廃合について考えるにはもっと十分な議論をしないとコメントできないので、特になしということにする。<br>次は学校施設耐震化推進事業であるが、これは着実に進めて欲しいというところであるが、耐震化はほぼ終わったということであったか。                           |
| 森課長   | 一部建て替えが残るが、耐震化事業は終了である。   |
| 牛島委員長 | 耐震化を着実に進めて欲しいとかコメントする必要もない状態であるので、ここも特になしでよろしいか。<br>次の小学校空調施設整備事業であるが、ここはコメントも少ないので特になしでよろしいか。  |
| 森副委員長 | 工事は終わったのか。  |
| 福岡補佐  | 夏休みを待って工事にかかっている。   |
| 牛島委員長 | 次の学校給食センター等整備事業であるが、これは民間委託を検討して進めて欲しいと入れるのか。   |
| 森副委員長 | 意見は民間委託というコメントがかなりある。   |
| 牛島委員長 | 民間活力を活用しながら事業を実施して欲しいというのは全体としてあったような気がするので、それを入れるか。  |
| 森副委員長 | そういう意見の委員も多かった。   |
| 牛島委員長 | それでは(8)に書いてある民間活力を活用しながら事業を実施する。ということをお願いします。   |
| 酒井委員  | そのコメントにすると、この評価の欄は現行どおりでよいか。  |
| 牛島委員長 | そうすると(8)にするかということであるが、人数的に4番が多いので、事業を実施するってこと自体は(10)現行どおり。これから民間活力を使うかどうかはこれからであるので見直しとして捉えたという感じだと思うが、はっきり言うなら(8)の方でも構わない。現行どおりと付けられた方の考えはどうか。 |
| 酒井委員  | 市の計画自体は、将来的な見通しとして現行どおり。  |
| 小野部長  | 見通しとしては。  |
| 酒井委員  | 2つとも直営か。  |
| 小野部長  | どちらにしても調理員の数が不足するので、両方を直営でするのは難しいので、すぐ民間委託をする必要がある。   |
| 牛島委員長 | 退職に合わせてだんだんと移行していくかたち。  |
| 小野部長  | 2箇所になるので、1箇所はすぐに民間委託になる。もう1箇所の方は職員数によって移行することになる。   |
| 牛島委員長 | だから民間活力の活用ってこと自体は視野に入っているということによ  |



|       |   |
|-------|---|
|       | いか。   |
| 小野部長  | 決定ではないが。  |
| 牛島委員長 | そこは委員会として一言いったほうがよいと思うので、民間活力を活用しながら事業を実施するというコメントでいいと思うが、そうすると(8)になるが。   |
| 森副委員長 | 坂井委員がいう(8)に移したほうがコメントとの整合性がとれる。   |
| 酒井委員  | 予算は何の費用か。   |
| 森課長   | 設計費である。   |
| 酒井委員  | 建設費も関連するのではないか。   |
| 小野部長  | 平成26年度を目途に。   |
| 牛島委員長 | だから施設はそうであるが、一部でも委託してすべきだということ言えば(8)の方が相応しいと思うので、(8)民間活力の方に付け直しをお願いする。全体を通じてであるが、評価の理由で人数と全体の委員会の評価が違うところがあるが、議会とかそういうところでは、その部分についてよく説明して欲しい。委員の皆さんで検討した結果そういうことになったと。<br>次の地域教育推進事業であるが、どういったコメントがあったか。                         |
| 福岡補佐  | 各委員からのコメントにつきましては、対象校が一部の学校に固定しないようにするという内容。内容が硬直化している。事業の必要性に照らし実施や内容に工夫が必要である。また教育に貢献したい一般市民も多いと思われるので、その方々の力を活用する。あとできるだけ多くの学校や幼稚園で実施するように働きかけ固定化しないようにする。というコメントであった。委員会のコメントとしまして対象校を固定せずに内容の見直しをして実施するという(7)の見直しでよいかと思われるが。 |
| 牛島委員長 | 対象校が固定化しないよう内容の見直しをして実施をするということをお願いする。<br>次は文化芸術事業であるが、これは特になしでよろしいか。内容については各委員のコメントにもあるように、少しずつ見直しする部分はあるが実施してほしいという感じであると思う。  |
| 赤井委員  | それだと(7)になる。   |
| 牛島委員長 | (7)にするほどでないが。   |
| 森副委員長 | 4人の委員が現行どおりとしている。   |
| 牛島委員長 | 各委員もコメントには書いてあるが、見直しには付けていない。現行どおりとして特にコメントなしにすれば、それでもいいかと思うが。  |
| 赤井委員  | コメントに見直しというのがあるからしっかりこない。見直しという言葉さえなければ、例えば内容を更に充実させながらとか。見直しが使わ  |

|       |   |
|-------|---|
|       | れるとちょっと違和感がある。  |
| 牛島委員長 | <p>それでは、内容を充実させながら実施するというにすることにする。</p> <p>次の歴史と文化によるまちづくり事業。これは確かに見直しが必要であると。本は戦争体験のことについての分類を見直したうえで、歴史と文化によるまちづくりを考えるべきだという事であった。新しい取り組みをすべきだということ、あえてここに書かないとすれば、事業分類の見直しが必要であるということによいか。</p> <p>次の詫間町紫雲出山遺跡館管理費であるが、これは現行どおりで特になしということによろしいか。</p>   |
| 森副委員長 | コメントなしか。  |
| 牛島委員長 | <p>これは特になしで各委員のコメントで見てもらおうということによいかとは思ふ。</p> <p>次は三豊市緑ヶ丘総合運動公園管理運営事業であるが、これも現行どおりで特になしということをお願いする。</p> <p>次は豊中サンスポーツランドであるが、この事業は指定管理者制度がまだ入っていない施設であるが、まずは民間活力の活用を図り、先では民間委託をとということによいか。</p> <p>次は B&amp;G 海洋センター管理運営費であるが、これは施設の整理統合をして縮小方向にとということであるので (6) 縮小によいか。</p>   |
| 酒井委員  | 28 ページのコメント、縮小方向での検討を行うによいか。  |
| 牛島委員長 | <p>それでよい。</p> <p>次の議員報酬等であるが、これは特になしということによいかと。</p> <p>次はレクリエーション農園事業であるが、委員会コメントの趣旨としては新たなニーズも発生していないので、固定化している感がある。利用者で財源の確保が出来るような運営が望ましいと。</p> <p>次の七宝山ふれあいの森管理事業であるが、現行どおりで特になしということをお願いする。委員会のコメントは必要ない。</p> <p>次の永康病院運営事業と三豊市立西香川病院事業であるが、これは広域での医療体制のあり方を考えるということであったのでこれでいいかと思う。</p> <p>次は健康増進事業であるが、これは 6 名が現行どおりということ、コメントも特になしによろしいか。</p> |
| 森副委員長 | 今のは 29 番か。  |
| 事務局   | 34 ページの評価番号が 30 である。  |
| 牛島委員長 | これは健康増進事業で、受診を PR して欲しいということであるが、コメントにいれるかどうか。効果的に PR をして推進して欲しいといれるか。  |

|       |   |
|-------|---|
| 森副委員長 | 委員長言われたように、効果的な PR 入れた方がいい。   |
| 牛島委員長 | 効果的に PR し推進して欲しいということで。   |
| 森副委員長 | 良いと思う。  |
| 牛島委員長 | 次の子ども医療費助成事業であるが、これは委員会コメントに書いていただいているようなことでよいかと。こういう通知等を発送するかどうかという前段の一部は要らない。適正な利用、市の負担額の通知など積極的に行い抑制を図るという 1 文でいいのでないか。  |
| 森副委員長 | 年齢は三豊市が引き上げている。   |
| 牛島委員長 | 抑制を図るという言い方はちょっと強いが、委員会としてはこれぐらい言ってもいいのでは。<br>次に放課後児童クラブ運営事業であるが、これは夏の料金は高くてもいいのでは、とか色んな話しがあつたが、直ちに民間委託というわけにはいかないというのは要らない。財政確保の可能性も含めて見直しが必要である。評価として見直しを付けたのだからこれでいいのでは。<br>次は豊中町児童館管理運営事業であるが、統合というところまでの議論はなかったと思うが。 |
| 森副委員長 | 同じような事業で、一方は無料でもう片方は有料となっているのが。   |
| 福岡補佐  | これは最後の評価の段階で、両方とも内容的に同じようなことしているというご意見が出たものでこういう表現にさせていただいている。  |
| 森副委員長 | 同じ内容で料金が不公平である。   |
| 牛島委員長 | 事業統合は現実的にどうか。   |
| 小野部長  | 難しい。  |
| 牛島委員長 | 難しいと思う。やはり役割と趣旨が少し違うので。   |
| 福岡補佐  | 見た目は同じでも、設立した趣旨・目的が違う。  |
| 牛島委員長 | だから、統合というのは削除してクラブとの関係を整理するとか、検討するというのが良いと思う。放課後児童クラブとの関係を含めて執行体制、費用負担の面でも見直しを行うということでよろしいか。<br>次は敬老祝金支給事業であるが、商品券事業との連携を図るといふばやかした言い方であるが、本当は商品券の配布を検討するという各委員のコメントにある。いろいろ批評はあると思うが、商品券事業との連携を図るといふことでよろしいか。            |
| 森委員   | 商工業振興との連携か。   |
| 牛島委員長 | そういうことであれば、この事業は福祉であるので、連携を図るといふ言い方がいいのかどうか。商品券の配布についても検討するということがお願いする。<br>次は高齢者福祉タクシー事業であるが、縮小となっていてちょっと強く   |

|       |   |
|-------|---|
|       | 出すぎると感じる。効率化を図る方法を検討するぐらいがいいかと思うがどう思うか。   |
| 森副委員長 | 今の利用者が6割ぐらい。現実的に使用しているのは。   |
| 牛島委員長 | 意見が多いのが縮小であるので縮小とするか、効率化を図るとするか。効率化を図り縮小方向で検討するということであるが。   |
| 森副委員長 | 効率化を図る。結構事務的には大変だろうと思うが。  |
| 牛島委員長 | 効率化を図る方法を検討するということでしょうか。  |
| 森副委員長 | 効率化を図る方法とは。   |
| 牛島委員長 | 方法を検討することが難しいとは思いますが、何か方法を考えるということで、効率化を図る方法を検討するということをお願いする。<br>次は生活保護受給者就労支援事業であるが、生活保護費の支給自体にも課題があるからというのはいらない。就労支援は拡充に付けてあるから、ちょっと期待感を込めたコメントが欲しい。就労支援を拡充し、成果をとということでどうか。 |
| 小野部長  | 成果を出すということでよいか。   |
| 牛島委員長 | 成果を出して欲しいということで。<br>以上で評価シートの個表については終わりにする。開催の経緯から後のページについてはよろしいか。<br>それでは(2)その他ということで全体を通して何かあるか。  |
| 森副委員長 | 外部評価シートの中で、各委員のコメントに誤りがあったのは21ページだけか。   |
| 福岡補佐  | 21ページと22ページである。   |
| 森課長   | 委員会のコメント等については、後日修正して送付させていただく。   |
| 森副委員長 | 傍聴の状態はどうだったか。2回から4回で何人であったか。  |
| 事務局   | 2回が1名、3回が2名、4回1名の4名である。<br>その4名の内3名は職員であり、それ以降に説明等がある担当課長等が傍聴にこられていたということで、実際は1名が外部の方で、その方も議員であった。  |
| 森副委員長 | 三豊市広報・HP等でも外部評価の周知をしているが、傍聴者がほとんどいない。もう少し関心を持ってもらいたいというか、市政に参画してもらいたいと思う。今後の検討課題でお願いしたい。  |
| 牛島委員長 | 他にないか。<br>事務局から何かあるか。   |
| 森課長   | 長時間に渡りましての協議ありがとうございました。今回で最後になるので、閉会に当たり政策部長より一言お礼のご挨拶を述べさせていただきます。  |

|       |   |
|-------|---|
|       | く。  |
| 小野部長  | <p>第1回から第5回までということで、長期間に渡りましての外部評価ということでお礼を申し上げます。当初は財政的な基盤を整えるということで、合併当初から行財政改革に取り組んできました。どうしても内々の評価だけでは自己改革できないということで、外部評価が必要であるということから、この外部評価委員会というのを取り入れてきた。個人的な意見になるかわからないが、事務事業をやる場合でも、前任者がやっているから単に継続してやればいい、という意識では困る。そういった中で人事異動も行われているので、人事異動の大きな目的は、前任者がやっているものをいかに工夫して効率よく実施するか、そしてまた事務事業がどうかという分析の中で、今後担当者としてどう考えるのか。こういった目線を是非持っていただきたい。こんな思いもあり、我々はこの事務事業評価というものを利用していこうと思っている。今日ご提言いただきました内容については、また後日、委員長はじめ市長にも報告させていただき、その中で来年度以降の事務事業に反映をさせていきたいという手順で進めて参りたい。委員の皆様にはご協力いただき、また他方面でのご助言ご指導をいただきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。本当に有難うございました。</p> |
| 牛島委員長 | 市長への報告はいつを予定しているか委員に周知して欲しい。  |
| 森課長   | 本日の資料を修正させていただき、7月30日(月)、15時30分より、委員長、副委員長と事務局で市長へ提出させていただきたいと思っている。  |
| 牛島委員長 | <p>それでは今日の委員会で最後になるがお礼を申し上げます。5回に渡りご審議を頂きありがたく思う。大変ボリュームのある作業であったが、委員皆さんの色んな視点からのご意見を頂き良い報告書にまとまったと思う。今部長よりお話しがあったように、市長にしっかりとお伝えをしていきたいと思っている。それから執行部というか担当部局のほうには、どんな趣旨での意見があったかということ、この紙だけでは伝わらない部分もあるので、政策部の方から伝えていただくようお願いしたいと思っている。それでは5回に渡ってのご審議ありがとうございました。お疲れ様でした。</p> <p>以上で、事務事業外部評価委員会を終了とする。</p>   |
| 4.開会  | 午後4時17分   |